

ふるさとの杜 再生プロジェクト

「ふるさとの杜」のイメージ図。仙台市民の心を広げていくことを目指す。

仙台東部地域の
みどりの再生を目指して

「杜を育てる」活動が始まります!

これまでの活動
“みどりの復興”
多くの苗木を植えました

ふるさとの杜再生プロジェクトでは、これまで市民の皆さまと共に海岸防災林や海岸公園に2万本以上の苗木を植えてきました。2021年3月11日で東日本大震災から10年となった今、震災後から植樹を続けてきた苗木も力強く生長しています。

第1回グリーンインフラ大賞 国土交通大臣賞(最優秀賞)を受賞しました

国土交通省主催の第1回グリーンインフラ大賞にて、「ふるさとの杜再生プロジェクト」が防災・減災部門最優秀賞を受賞しました。

今回の受賞は、海岸防災林の造林で地域の防災性を高めたこと、植樹会などを通じて地域の方々とつながりを深めたという点が評価されました。これまでの活動に携わった皆さまに改めて感謝いたします。

2021年3月9日に表彰式が行われ、朝日新聞本部長「ふるさとの杜」再生プロジェクト推進委員長 国土交通大臣政務官より表彰をいただきました。

「育樹会」に参加してみませんか?

参加費無料

定員 第1部 40名 / 第2部 20名
※第2部だけの参加はできません

開催日・時間	会場(集合場所)上部参照	内容	申込開始日
7月17日(土) 9:30~12:30	井土地区 (自陸広場)	第1部: 第一第二部 育樹作業 自陸広場で草花採集	7月7日(水) 9時から
8月28日(土) 9:30~12:30	荒浜南宮林 (御平公園センターハウス)	第1部: 第一第二部 育樹作業 スナガ二種り体験	8月6日(金) 9時から

●申込開始日より電話で受付(受付時間:9時~16時 ※10日(日)は休館)
●先着順・定員になり次第締切
●育樹会事務局: 仙台市海岸公園センターハウス
(7984-0033 仙台市青葉区荒浜字北宮3-30)
お申込みは ☎022-288-4021

※新型コロナウイルス感染症の感染防止策を徹底し、心づけて実施いたします。なお、感染拡大状況によっては中止・延期する場合があります。

「ふるさとの杜再生寄附」を募集しています

寄附金は、「ふるさとの杜再生プロジェクト」事業で使用する苗木や資材の購入費用などに充てさせていただきます。寄附金につきましては、税制面で優遇されます。ふるさとの杜の再生に向けて皆さまの支援をお待ちしております。

ふるさとの杜再生プロジェクトに関するお問い合わせは、仙台市建設局百年の杜推進課 022-214-8389まで

「育樹会」に参加してみませんか?

参加費無料

定員 第1部 40名 / 第2部 20名
※第2部だけの参加はできません

開催日・時間 会場(集合場所)上部参照

7月17日(土) 9:30~12:30 井土地区(自陸広場) 第1部: 第一第二部 育樹作業 自陸広場で草花採集

8月28日(土) 9:30~12:30 荒浜南宮林(御平公園センターハウス) 第1部: 第一第二部 育樹作業 スナガ二種り体験

申込開始日 7月7日(水) 9時から / 8月6日(金) 9時から

お問い合わせ: 022-288-4021

暮らしに彩りを添え、 なごやかな交流をうながす

大和町市営
住宅自治会

**空き地を利用して
憩いの場となる花壇を**

「キレイに咲いてびゅーり、」こんな立派な花壇になるなんて、住民の方から聞いた声が聞こえてくるのは、大和町市営住宅の敷地内に新たに設けられた花壇。国道4号バイパスに面した旧たりのいい場所、芝生のスペースが部分的にあつたもので、以前は雑草混じりの空き地のようだった。入居者のほとんどが震災の被災者で、高齢者が多くを占める大和町市営住宅。自治会として憩いの場となる花壇を

**住民が自主的に管理
花が会話のきっかけにも**

自治会として野外活動を行うのは、花壇づくりが初めてで、屋内での活動より健康的であったとの声も聞かれました。花壇の管理に關しては、住民の方から自主的にミミ拾いや、水やりを行っています。「花壇ができる前は、誰もこの場所に来ませんでした。花があると和やかにになりますね。コロナ禍でも、ここだから気軽に使いませんか」と、花壇がもたらした効用を

**公共性にも配慮し
花壇をメンテナンス**

一冬を越え、春光さす4月11日(日)、「花降る街、仙台」のメンバーが集まり、それまでに植えた植物のメンテナンス・雑草取りが行われました。最初に、設計を担当したカテナデザイン(株)の田代吉宏さんからメンテナンスの仕方や、花が開き切ったチューリップは葉を残して切り、宿根草のスネバ・ニラツシマなどは、枯れている葉先だけを切り、ほかは残すように指示していました。

**市民が自主的に管理
花が会話のきっかけにも**

自治会として野外活動を行うのは、花壇づくりが初めてで、屋内での活動より健康的であったとの声も聞かれました。花壇の管理に關しては、住民の方から自主的にミミ拾いや、水やりを行っています。「花壇ができる前は、誰もこの場所に来ませんでした。花があると和やかにになりますね。コロナ禍でも、ここだから気軽に使いませんか」と、花壇がもたらした効用を

花とみどりで四季の 移ろいを感じられる仙台駅前に

一般社団法人
花降る街、仙台

**花のプロたちが集まり
花でやさしい風景をデザイン**

仙台駅西口に広がるベネストリアンデッキ。周りをビルに囲まれただけで、彩の都の名にもふさわしく、みどりとともに花の移ろいも加えたいと活動を行っているのが、一般社団法人「花降る街、仙台」です。市内の花屋・Floristが集まり、市民に花の魅力を提案している団体です。仙台市の市民協働事業に選ばれたプロジェクト「仙台を花の街に計画」の一環として仙台バルコから交番前の花壇の整備を手掛けています。

**公共性にも配慮し
花壇をメンテナンス**

一冬を越え、春光さす4月11日(日)、「花降る街、仙台」のメンバーが集まり、それまでに植えた植物のメンテナンス・雑草取りが行われました。最初に、設計を担当したカテナデザイン(株)の田代吉宏さんからメンテナンスの仕方や、花が開き切ったチューリップは葉を残して切り、宿根草のスネバ・ニラツシマなどは、枯れている葉先だけを切り、ほかは残すように指示していました。

**公共性にも配慮し
花壇をメンテナンス**

一冬を越え、春光さす4月11日(日)、「花降る街、仙台」のメンバーが集まり、それまでに植えた植物のメンテナンス・雑草取りが行われました。最初に、設計を担当したカテナデザイン(株)の田代吉宏さんからメンテナンスの仕方や、花が開き切ったチューリップは葉を残して切り、宿根草のスネバ・ニラツシマなどは、枯れている葉先だけを切り、ほかは残すように指示していました。

**公共性にも配慮し
花壇をメンテナンス**

一冬を越え、春光さす4月11日(日)、「花降る街、仙台」のメンバーが集まり、それまでに植えた植物のメンテナンス・雑草取りが行われました。最初に、設計を担当したカテナデザイン(株)の田代吉宏さんからメンテナンスの仕方や、花が開き切ったチューリップは葉を残して切り、宿根草のスネバ・ニラツシマなどは、枯れている葉先だけを切り、ほかは残すように指示していました。

もつとみどりに親しみ、みどりと 触れあえる場をつくりたい

あしたのみどり
キャンペーン

あしたのみどりキャンペーンは、杜の都のみどりを育むことを目的に、市民企業・行政が一体となり

2009年にスタート。震災後には、失われた「みどりの再生」をテーマに加え展開してきました。15年までの7年間で約750万円で、仙台市の百年の杜づくり推進基金および震災復興を支援する市民団体に寄付し、被災地域でのみどりを通じた復興支援活動に役立てられました。16年からは、幼稚園や地域の団体などの要望を受けて植樹・花壇づくりを支援し、地域コミュニティの再生に寄与する取り組みを続けてきました。

あしたのみどりキャンペーンは、杜の都のみどりを育むことを目的に、市民企業・行政が一体となり

2009年にスタート。震災後には、失われた「みどりの再生」をテーマに加え展開してきました。15年までの7年間で約750万円で、仙台市の百年の杜づくり推進基金および震災復興を支援する市民団体に寄付し、被災地域でのみどりを通じた復興支援活動に役立てられました。16年からは、幼稚園や地域の団体などの要望を受けて植樹・花壇づくりを支援し、地域コミュニティの再生に寄与する取り組みを続けてきました。

あしたのみどりキャンペーンは、杜の都のみどりを育むことを目的に、市民企業・行政が一体となり

2009年にスタート。震災後には、失われた「みどりの再生」をテーマに加え展開してきました。15年までの7年間で約750万円で、仙台市の百年の杜づくり推進基金および震災復興を支援する市民団体に寄付し、被災地域でのみどりを通じた復興支援活動に役立てられました。16年からは、幼稚園や地域の団体などの要望を受けて植樹・花壇づくりを支援し、地域コミュニティの再生に寄与する取り組みを続けてきました。

あしたのみどりキャンペーンは、杜の都のみどりを育むことを目的に、市民企業・行政が一体となり

2009年にスタート。震災後には、失われた「みどりの再生」をテーマに加え展開してきました。15年までの7年間で約750万円で、仙台市の百年の杜づくり推進基金および震災復興を支援する市民団体に寄付し、被災地域でのみどりを通じた復興支援活動に役立てられました。16年からは、幼稚園や地域の団体などの要望を受けて植樹・花壇づくりを支援し、地域コミュニティの再生に寄与する取り組みを続けてきました。

みやぎの環境保全米

豊かな環境づくりは、おいしいお米づくり。

みやぎの豊かな水と土を美しく保ちながら、自然豊かな環境を守るために、農薬や化学肥料の使用量を半分以下に減らし、自然と人間の力をあわせておいしいお米作りを行う。それが私たちの取り組む「みやぎの環境保全米」です。

環境保全米ってどんないいことがあるの?

- 自然にやさしい: 水や土を守り、生き物を守ることができます。
- みんなにうれしい: 安心・安全なお米をお届けできます。
- 未来へむけて: 安定した食糧供給に貢献できます。

環境保全米ってどんないいことがあるの? 自然にやさしい みんなにうれしい 未来へむけて

水や土を守り、生き物を守ることができます。農薬や化学肥料の使用量を減らすことで、栽培している地域の環境(水・土など)への負荷を軽減させ、きれいで豊かな生態系の維持に貢献します。

安心・安全なお米をお届けできます。農薬や化学肥料の使用量を減らすことは、全国の消費者に、より安全で安心なお米をお届けすることにもつながります。

安定した食糧供給に貢献できます。健康に育った稲は生命力豊か。しっかりと根を張り、冷害などにも負けない米作りをすることで、毎年安定した良質なお米をお届けすることができます。

サンドの飯はみやぎ米! ひとめぼれ30周年! サンクスキャンペーン! サンドのみやぎ米検定 期間: 2021/8/31(水)まで

参加するとパニキュラライスポットなどが当たる!

https://m-hozenmai.jp/ あしたの元気! 宮城米 除菌

みやぎ米について詳しくは 980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目2番16号 TEL.022-264-8381

JA全農みやぎ

みどりを楽しみ 育む

あしたのみどりキャンペーンは、みどりを通じた地域再生を支えるとともに、一人一人にみどりを育むための活動を広げることを目指し展開します。

2021 あしたのみどり キャンペーン 本日スタート! 12.31(Fri)まで

あしたのみどりキャンペーンは、みどりを通じた地域再生を支えるとともに、一人一人にみどりを育むための活動を広げることを目指し展開します。

あしたのみどりキャンペーンは、みどりを通じた地域再生を支えるとともに、一人一人にみどりを育むための活動を広げることを目指し展開します。

わたしの好きな「みどりのある風景」募集

あしたのみどりキャンペーンWEBサイトの投稿フォームから必要事項を入力し、画像を添付の上、投稿してください。

あしたのみどりキャンペーンWEBサイトの投稿フォームから必要事項を入力し、画像を添付の上、投稿してください。

応募期間: 10月31日(日)まで
公開期間: 6月30日(水)~12月31日(金)
期間中ご応募いただいた情報を随時公開

投稿いただいた方には抽選でプレゼントが当たるチャンスも! 詳しくは、WEBサイトをご覧ください

抽選でプレゼント!

「植樹・花壇づくり支援」希望団体 募集

あしたのみどりキャンペーンのWEBサイト、応募フォームから必要事項を入力の上、ご応募ください。

あしたのみどりキャンペーンのWEBサイト、応募フォームから必要事項を入力の上、ご応募ください。

応募期間: 7月31日(土)まで
実施数: 2~3カ所を予定 (応募には条件があります。詳しくはWEBサイトで確認ください)

仙台市内を拠点とする、町内会、幼稚園・保育所、学校、地域の非営利団体などで、植樹や花壇づくりなどの支援を希望する団体を募集します。地域に花やみどりを育むために活動する、皆さまからのご応募をお待ちしています。

https://www.a-midori.jp